一身田の新聞

発行
一身田地区
社会福祉協議会

編集長
岡本博和

来年、一身田小学校は創立150年を迎える

明治7年4月1日開校　卒業生は14，344人

創立百五十周年を迎えるにあたって

一身田小学校長　三浪秀信

輝くほまれ大宝の　古き歴史に名をしるき　豊じょうの里一身田　伝統ここに千余年・・・

一身田小学校校歌の冒頭部分である。この校歌は1954年(昭和29年)津市と合併した年に創立80周年の記念事業として作られた(同校　三浪校長)。1935年(昭和10年)生まれの長谷川英夫さんは「校舎も転々とし、今に至った」と云う。幾多の歴史の変遷をみてきた一身田小学校、栄えあれ。

本校は、令和六年一月十六日に創立百五十周年を迎えます。百周年の際の記念誌によりますと、一八七四年(明治七年)四月一日に、一身田・豊野・大古曽の三村が集まって学校を作ることになり、ひとまず、お寺や民家を借りて教室を作り、勉強を始めたのが一身田小学校の始まりとのことです。その後、明治九年に学区の人々がきちんとした校舎を建てて、よく勉強ができるようにしたいと考え、お金を出しあって寺町に学校を建てたそうです。翌明治十年には、平野・中野・上津部田の三村が中野に建てていた学校も併せて学校を大きくしました。実際の学校の創立は明治七年四月一日ですが、いつのころからかお七夜と関係づけて、一月十六日に前倒しをして創立記念日としたそうです。かつては、創立記念日は休校日となっていたので、このように変更したのかもしれません。

創立百五十周年を迎えるにあたって、百周年の時のような記念式典までは考えていませんが、十月六日に航空写真を撮影し、PTAの協力でフアイルを作成し、児童に配付し、希望者(在籍児童保護者)にはその他の写真も販売します。

また、六年生の児童が総合的な学習で町おこしを兼ねて百五十周年記念カレンダーを作成します。このカレンダーは高田本山専修寺に大スポンサーとなってもらい、ほかに寺内町を中心とした商工会各商店や寺内町の館、一御田神社等にもスポンサーとなっていただいて、学校行事を記した令和六年度のカレンダーを作成します。寺社や各商店等の紹介は六年生児童が撮影、取材し掲載します。スポンサーとなっていただいた皆様、ご協力ありがとうございます。もし地域の方でカレンダーの購入を希望される方は一身田小学校(電話232205４)三浪までご連絡ください。一部七〇〇円で販売する予定です。保護者の皆様には別途購入希望を聞かせていただきます。そのほか、しばらくコロナ禍で実施を見合わせていた芸術鑑賞を百五十周年記念として十月二十日に体育館で行います。五人の声楽家の方が校歌などを合唱し聞かせてくださいます。申し訳ありませんが、対象は児童のみとなります。

寺内町の館を会場に展示される「笑顔ときずなの写真展」において、今年は本校の百五十周年に合わせ学校の昔を振り返る企画を考えてくださっていると聞かせていただきました。多くの地元の方の母校である一身田小学校を今後とも、どうかよろしくお願いします。

1936年（昭和11年）3月一身田尋常小学校卒業式が行われた　写真提供　細川　昭さん

1933年（昭和８年）一小入学

一身田小学校は来年、創立150年を迎える
秋の祭りが目白押し
みんなの便り　投稿が増え　紙面もにぎやかに

スマホでAR（拡張現実）を楽しもう

寺内町の館　館長　小林伸生

皆様、AR（拡張現実）と言う言葉をご存じですか。スマホで写真を撮るとき、現実の風景に仮想の物を追加して表示する技術です。多くの方が楽しんだゲーム「ポケモンGO」と同様です。寺内町各地の撮影スポットに掲示されたマーカーをカメラで読み込むと使用出来ます。

一身田マスコットキャラクターしんぼう君と共に撮影したり、お坊さん、お稚児さん、着物姿に変身して撮影したり、プラレールの運転手に成って撮影したり出来ます。

初めての方はまず寺内町の館にお越しください。使用法、マーカー設置場所等をパンフレットで説明します。

動作を自宅で体感して頂くため、本紙にしんぼう君のマーカーを掲載しました。

楽しさ倍増の寺内町散策をお約束します。

QRコードを読み取ると
フォトフレームが出現！
しんぼうくんと
写真が撮れる！
QRコードを読み撮れば体感できる

御田神社は秋の大祭を開催

保存会主催のイベントも

一御田神社　宮司　脇田　匡

一御田神社におきまして10月22日(日)厳かに秋期例大祭が催行されます。神社祭典では毎回、平穏な生活への感謝と願いを込めてお米を中心に様々な御神饌(しんせん)が供えられます。

中世より地域の人々は、主食であるお米の豊作を願い『お田植え祭』で植えられた稲を育み、『秋の大祭』で新米を御神前に献上して収穫の喜びを共有して来ました。その様にして大切に栽培されたお米は伊勢の神宮に神饌として献上された事がその質の高さを物語っています。

本年より『お田植え祭』はこの地が豊かな神宮御厨であった故実を現代に伝える貴重な行事であるとして後世に残すため無形文化財の登録を目指し活動を始めました。

また新たに神社境内周辺において『ご縁日』の開催や餅つき大会『弥栄餅』も行われます。当日は皆様ぜひ御参拝頂き、貴重な郷土史に触れると共に収穫味覚に満ち溢れた秋の一日をお楽しみ頂けると幸いです。

懐かしい写真や情報の提供を

寺内町の館　館長　小林伸生

寺内町の館は昨年11月に設立20周年を迎え記念式典を実施しました。今年は20周年を記念して「写真・イラストで語る一身田の歴史と文化」記念誌の作成に取り組んでいます。

楽しく一身田の歴史・文化を知って頂くガイドブック的な内容を目標にしています。

皆様の協力で充実したものを作り上げたいと思いますので、古いアルバムを振り返り、お持ちの貴重な写真と情報をご提供ください。具体的には、一御田神社、高田本山と共に発展した一身田の生い立ち、歴史を知る写真と情報。地域を支える各組織の活動、イベントの懐かしい写真と情報。

一身田が排出した偉人、興味あるエピソード、隠れた見どころを紹介する写真と情報等々です。

併せて、一身田小学校が来年創立150周年を迎えますので、懐かしい思い出の写真、記録写真等も大募集します。懐かしい写真と情報をご提供下さい。皆様から寄せられた写真は後に写真展等で広く紹介する予定です。

今年も餅つき（午前１０時３０分頃から）が行われる

天高く　今年も寺内町まつりが開催される

寺内町まつり実行委員会　舞台担当　石川正浩

本年度の一身田寺内町まつりの開催は、来る11月12日(日)に開催を決定し、舞台の準備を始めています。

今年も、午前の部では、地元の高田幼稚園園児合唱、一身田小学生による合唱、一身田中学吹奏楽部の演奏など地域の子どもたちの舞台発表や、唐人踊り、しゃご馬、津高虎太鼓および中野獅子舞などの郷土芸能団体の演奏や演舞を、そして午後の部では、よさこいチームの演舞と、合わせて約30団体が高田本山専修寺唐門前特設舞台で賑やかに熱演します。また、小林豊子着物学院の皆さんによる花魁道中も見ものです。国宝如来堂を正面に観ながらの舞台は演じる皆さんにも貴重な体験だと思います。

舞台の企画運営は長年、一身田中学校生徒会の皆さん、創立50周年を迎えた津西高校放送部の皆さん、そして極津の大学生の皆さんとの中・高・大連携で実施してきています。是非皆さん唐門前舞台にお運びください。

みんなの便り

9回目の地域懇談会
市長と住民との直接対話　要望を伝える

9回目となる市長との直接対話「地域懇談会」が8月24日、一身田公民館で行われた。地域を代表して自治会から岡野勇治氏、社会福祉協議会から望木幹雄氏、PTAから岩瀬恭子氏、民生児童委員から岡　恒文氏、商工振興会から中川隆功氏、老人会から鈴木良次氏、観光懇話会から中西万喜夫氏、体育振興会から村田定利氏の8人が登壇した。

主な要望は、寺内町の環濠や景観の整備、一小の砂塵対策や屋外トイレの改修、津市からの助成金の引き下げについて、一身田地内の狭い道路の側溝に蓋を、などであった。

このことに対し市長は具体例も織り交ぜながら「津市の事業計画に沿って行っていく」との答弁にとどめた。

地域住民にとってはどれも深刻な問題である。

例えば一小の砂ぼこりでは、行政は「飛散防止に防塵剤をまいた」と説明するが、実際には風の通り道の家にはひどい砂ぼこりが舞い上がる。、

また屋外トイレの改修については「子どもの利用頻度が少なく、修繕が必要になったら改修する」、電柱の地中化については、地域懇談会が始まって以来からの要望であるが、津市は全く計画してないので無電柱化は難しいと回答。

その他として、平野排水機場の老朽化の即時改善要求について、6月の市議会で補正予算が付き、今後三重県が主体となって事業化することが報告された。会場内からはトイレ問題や無電柱化に対し、あ然とする声が上がった。

一般参加者からは、「志登茂川の改修を急いで三重県に要請して欲しい」、「一御田神社の神事であるお田植祭を津市の無形文化財に指定を」「津市の新規助成金制度をもっと分かりやすく告知を」の要望があった。

投稿
特に危険箇所の側溝に蓋を

一身田地区老人クラブ連合会長　鈴木良次

一身田寺内町の道路は、「高田山・一身田御略絵図」によると、今から272年前の1751年に造られたままの古くて狭い道路である。

朝夕の交通量は、幼保園の送迎や職員の車など100台、高田学苑の生徒の自転車が700台、車が300台(短大生含む)、一身田小学校関係が70台、高田本山関係が70台、岩崎病院関係で500台が朝狭い道を移動手段としている。

更に大学や高田学苑以外の高校、中学校に800人、デイサービスや障がい者の送迎車など約5，700人が移動している。

このように寺内町の道路は狭い割に流入出人口は多い。しかも、狭い道路に側溝に蓋がない所が物凄く多く、脱輪している現場をたくさん見ている。重大な事故が起こらないように一刻も早く側溝の蓋を取り付けて頂きたい。

中野の獅子舞　練習にもすごい熱気

9月某日、夜のとばりが降りる頃、中野の大乃巳所神社に子どもや大人が集まり出した。

9月から毎週土曜日は獅子舞の練習日である。ピーヒャラ、ピーヒャラと笛の音が、ドーン、ドーン、ド・ド・ドとつんのめる太鼓の音が会場内に響き渡る。

今日は「門舞」の子獅子の演舞の練習日。

子獅子のお頭と口取りがささらで調教する舞いである。

保存会員と子ども達が一緒に舞い始める。とすると、ほんの2～3分も経つや否や、保存会員からチェックが入る。

「お頭の上げ方は自分の頭の位置で振り回すように」「足は相撲のシコをふむように」と、注文が入る。

もう、子ども達は汗びっしょり、息も絶え絶えしい。一曲が約30分、全部で5曲の舞を披露する。

一小5年生の大矢和呼さんは「とても疲れるが舞っているときはとっても楽しい」と話される。

中野の獅子舞は今回から女子にも開放した。最初の出番は、「寺内町まつり」、保存会会長の小林達也さんは、「来て、見て、応援して下さい」と呼びかけている。

このままではゆでガエル

一身田地区自主防災協議会　会長　岡野勇治

7月27日、国連事務総長が「地球温暖化の時代は終わり地球が沸騰する時代が到来した。世界の猛暑の原因は人類の責任！」と、各国の指導者に気候温暖化対策の強化を求めました。

地球温暖化は18世紀後半の産業革命以降、石油、石炭等化石燃料を使い大気に二酸化炭素を大量放出していることにあることは最近の科学の進歩によって証明され、度々国際会議が開かれています。その都度、枠組み、削減目標等決められますが、その成果は遅々たることから総長の「地球が沸騰する時代の到来！」という表現になったと解説されています。

世界の人々も賞賛する日本の四季折々を子々孫々に引き継いで行く為には地域に住む私たち一人ひとりが問題意識を共有して、自ら率先垂範して利便、快適、飽食等を控え、慎み、そして政府行政、企業にスピード感を伴った効果的な対策をもっともっともっと声高々に働きかけていくことが必要かと思います。このままでは人類の自滅を待つばかりです。

投稿
美化活動で地域を盛り上げたい！

一般社団法人明日の一身田研究会　代表　笠井正久

本誌4月16日号で取り上げて頂きました、明日の一身田研究会ですが、法人登記が完了し、ホームページを作成中です。活動は、勝手に南公園の草刈りを随時行っています。

前回で申し上げた通り、美化が景観を保持するための一丁目一番地と思っており、将来、毛無川の清掃ができればと考えています。そのためには、地域に住まいする一人ひとりが川を汚さない、川をきれいにするという意識が必要です。

美化活動を続けるためには収益事業が必要です。そのために飲食店を開業しました。営業を続けることで、収益を上げるとともに一身田の名物を造り出せないか研究を続けます。

また、地区の古民家をお借りすることができれば、そこを利用することで、地域の賑わいをつくり出せないか、も考えます。

さらに、まちづくりのきっかけになるとされているスポーツ大会の開催も計画します。

ところで、現在制作中のホームページでは、メモリアルなページもでき上る予定で「本山」とかかわりの深いものとなります。これは期待大と自負します。

第46回 一身田地区町民
運動会
大人も子供も集まれ!!
10月29日（日）
午前8時30分～午前12時
会場：一身田小学校
＊雨天の場合は延期
11月5日（日）

主催：一身田地区体育振興会

シリーズ　本山をもっと知ろう！
納骨堂法会

高田本山　専修寺　玉野　章法

本山では毎年11月3日、4日に納骨堂法会をお勤めしております。

近年はコロナウイルス感染症の影響により、参詣を11月3日～7日に分けてお願いをしております。

仏教では遺骨を大切にし、お墓に納めます。それは亡くなった方々を通して、後に残る人々が阿弥陀如来様の本願(私たちを摂めとって救おうとする本当の願い)によって、必ず救ってくださるという教えにあわせていただくからです。

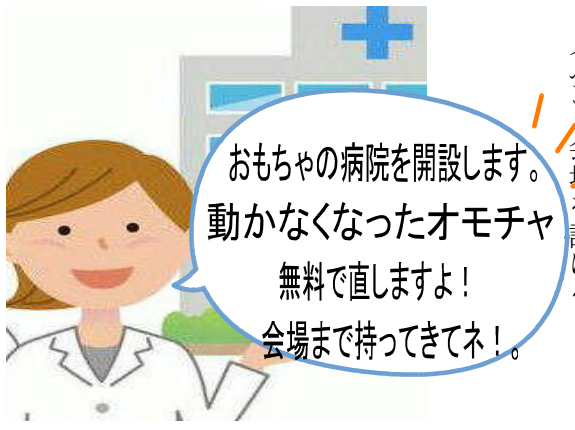
お釈迦様が亡くなられた時に、お釈迦様の死を悲しみ、弟子たちがお釈迦様の遺骨を分けておまつりしたことが始まりと言われています。

親鸞聖人の御遺骨は高田派第2世顕智上人によって、関東に運ばれ、聖人の墓所に納骨されました。高田本山の御廟にも親鸞聖人の御遺骨が納められています。

高田派ではそれ以来親鸞聖人のみもとでお浄土に生まれる幸せを共にしたいという想いから、本山に納骨する習慣ができ、今日に至っております。納骨堂法会は3日、4日の10時半から行列があり、その後、御影堂でお勤めがあります。

親鸞聖人をはじめ、大切なご先祖への感謝の想いをもってお参りしたいものです。

一御田神社ご縁日執り行う
10月22日（日）神社周辺で



祭りの秋を楽しもう！

また、また一身田に名物ができる。神社の保存会の皆さんが秋の「ご縁日」を演出する。

オモチャの病院を開設して動かなくなったオモチャを直す。(無料ですが、部品代が必要な場合は部品代が必要)。

一身田青年団のゲームや汽車、農家さんの新鮮野菜の販売、町おこし隊のガラクタ市や骨董市などなど。高田幼稚園東の道路を通行止めにしてのイベント会場を設ける。